

欧州の「ビジネスと人権」

「国連ビジネスと人権に関する指導原則」が2011年3月に公表され、それから1年半、欧州の企業はこの「指導原則」に対してどのような取り組みを実施してきたのか。

アルセロール・ミッタル社（本社ルクセンブルク）は、世界60カ国に27万人を超える従業員を抱える世界最大の鉄鋼メーカーだ。CSRヨーロッパの「ビジネスと人権」のワーキンググループ共同リーダーでもある。

同社は2010年に、NGO、投資家、有識者らと共に自社の「人権方針」を作成した。これはCEOや取締役からの承認を受け発行されている。

この「人権方針」は、19カ国語に翻訳され、全従業員に配布。さらに、2011年末までに、14万7千人を超える従業員に、人権に関する対面トレーニング、双方向のオンラ

イントトレーニングを実施するなど、社内教育を徹底した。

従業員が人権に関する懸念を伝えることができる仕組みとして、「不服申立制度」や「内部告発制度」もある。

例えば、チェコでは、「CEOライン」という従業員が申告できる仕組みがある。2011年には、「CEOライン」を使用して81件がCEOオフィスに届いた。全社では、不服申立制度を利用して、「人権」環境「安全衛生」に関する意見が598件寄せられた。

日本企業には、「人権は欧米の価値観」と傍観するのではなく、経営実務に取り入れる仕組みをつくるなど、実践を始めてほしい。

しもたや・たけし CSRコンサルタント。欧州と日本のCSRの懸け橋となるべく2010年サステイナビリティをロンドンに設立。代表取締役。英国イーストアングリア大学環境科学修士、ランカスター大学MBA。



サステナビリティ (CSR) プラクティショナー資格講習

第5回目 開催決定!!

開催地：東京

この資格講習は、英国の主要団体であるIEMA(The Institute of Environmental Management and Assessment)の公認の資格であり、世界で通用するCSR資格です。本資格講習は世界各地(シカゴ、ワシントン、ニューヨーク、ブリュッセル、ドバイ、アブダビ、アテネ、クアラルンプール、東京、大阪)で既に実施されており、世界5大陸で現在約400人の資格保持者がいます。本資格を取得することにより、組織内外でのCSR計画・戦略・プログラムをより効果的に実施することができるようになります。また、CSRスキルアップ・キャリアアップに活用することができます。



レクチャーとグループワークがバランスよく織り交ぜられた2日間の集中プログラム

- サステナビリティ・CSR・持続可能な開発
- CSRと気候変動の世界のトレンドと関連法規
- スティックホルダーアプローチとトリプルボトムライン
- カーボンフットプリント戦略
- グリーン&コーズリレーテッドマーケティング
- サステナビリティ・CSR戦略と報告書作成
- 国際基準(国連グローバルコンパクト・ISO26000等)

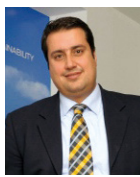
資格講習受講者の声

- 受講前に期待したことは全て満足でした。①これまでCSRを担当してきた業務対応が外部の観点から見て正しかったか。②CSRの総括した講習を受けたかったこと。③異業種の方々のCSR取り組みスタンスを知りたかったこと。(コニカミノルタホールディングス株式会社 前CSR推進部部長)
- CSRのROIの考え方のヒントを得たこと。ビデオを用いた実践的学習の手法を学んだこと。Green Washingなどの新しい概念を学んだこと。人権に関して新しい知見を得たこと。CSRの最新トレンドについて学べたこと。(カシオ計算機株式会社 CSR推進室室長)

◆ 日程 ◆ 2013年2月21日(木)・22日(金) ◆ 場所 ◆ 東京 ◆ 定員 ◆ 20名 定員になり次第締め切りとさせていただきます。



講師 サステナビジョン 下田屋 毅



ゲスト CSE ニコス・アヴロナス

サステナビジョンは、英国の主要団体 IEMA 公認トレーニング団体である。Centre for Sustainability and Excellence (CSE) と戦略的パートナーシップを締結。IEMA 公認資格である「サステナビリティ (CSR) プラクティショナー資格講習」を日本で開催しています。

お問い合わせ・申し込みはウェブサイトから www.sustainavisionltd.com



サステナビジョン

在英日本商工会議所会員企業

Web : www.sustainavisionltd.com/ E-mail : infojp@sustainavisionltd.com

携帯からもウェブをご覧ください!

